

西部小新聞

発行元

西部小学校

4年

堀岡結月

赤毛米のお世話



田植えが終わった直後の様子

赤毛米が育つまで

皆さんが良く知っている「ゆめぴりか」は、赤毛米からできていること知っていますか？

赤毛米とは、寒さに強い米です。中山久蔵さんが今から百五十年ほど前に、北海道で初めて作られたお米

です。

西部小では、毎年四年生が昔ながらの手作業で、赤毛米を育てています。ちなみに皆さんは赤毛米を知っていますか？

五月に島松駅通所に赤毛米の田植えに行きました。土の上に水がひいてあつてどろどろしていました。赤毛米保存会の三戸さんが赤毛米の植え方をていねいに教えてくれました。まず、苗を3本の指で持って、どろの中にさすように植えました。田植えをしながら、植えた赤毛米の苗を踏まないように気をつけました。昔の人や中山久蔵さんは毎日こんな大変なことをやっていたんだと思うとびつくりしました。それに、たくさん虫がいてビックリしました。虫がにがてな私は、すぐく田植えをしながら虫とたたかっていました。

走り方 投げ方 教室

六月十日にファイターズの元プロ野球選手の市川コーチと吉田コーチが正しい投げ方や速く走りやすい走り方を教えてくれました。吉田コーチに走り方を教えてもらって、少し足が早くなった気がしました。市川コーチから正しいボールの投げ方を教わった前と後ではボールの飛ぶ距離が全くちがいました。体力テストでは、三年生の時より長い距離を飛ばせました。ファイターズの吉田選手、市川選手に感謝です。そしてサインを体育帽子に書いて

もらいました。大切にしたいと思います。このファイターズ教室は去年から元ファイターズの選手が教えてくれているそうです。それに、市川コーチが「トンクル体操」を教えてくれました。トンクル体操とは、ボールを投げる時に使う体操です。隣の写真では、市川コーチがトンクル体操のお手本を見せてくれました。トンクル体操を使うと、長い距離ボールを飛ばせました。私はファイターズが好きなのでとても嬉しかったです。



市川選手がボールの投げ方を教えてくれました。